



○今回の「ウールあいちニュース」はいかがでしたか?ご意見ご感想を(財)あいち男女共同参画財団情報相談課までお寄せください。

○「ウールあいちニュース」は、県内の図書館や女性センター等で配布しています。特集記事等(バックナンバーを含む)は、ホームページで見ることができます。また、定期読者も募集しています。詳しくは電話でお問い合わせください。

ウールあいち

お知らせ

女性のチャレンジ相談

「何かしたい」「何か始めたい」というあなたに合ったチャレンジを支援する無料の相談窓口です。キャリアカウンセリングなどの実績豊富な女性の相談員が専門的なアドバイスや情報を提供します。

- (1) 就業相談(就職、キャリアアップ、資格取得)
  - 個別相談 原則として第1・2水曜日・第3土曜日 1日2名 ①13:00、②14:00(各45分)
  - グループ相談 原則として第2水曜日 定員各回10名 10:00~12:00
- (2) 起業相談(起業、NPO活動、地域活動)
  - 原則として偶数月第3水曜日 1日5名
  - ①9:30 ②10:30 ③11:30 ④13:00 ⑤14:00

●申込み・問い合わせ先  
(財)あいち男女共同参画財団 総務企画課  
電話052-962-2512

施設の案内

- 開館時間 9:00~21:00
- 情報ライブラリー 9:00~19:00(日曜9:00~17:00)
  - 相談コーナー 受付時間 9:00~12:00 12:45~16:30(土・日曜は16:00まで)

- 休館日
- 毎週月曜日(祝日の場合は翌日も休館)
  - 国民の祝日(土・日に当たるときは開館)
  - 年末年始(12月29日~1月3日)
  - \*ただし、電話による施設予約は休館日の9:00~17:00も受け付けます。(年末年始を除く)
  - \*宿泊施設は、年末年始以外はすべてご利用いただけます。
  - \*情報ライブラリーは、毎月第3火曜日(祝日の場合は翌日も休館)も休館します。



ウールあいち 愛知県女性総合センター

〒461-0016 名古屋市東区上笠杉町1番地  
代表電話 052-962-2511 FAX 052-962-2567  
<http://www.will.pref.aichi.jp/>

- 交通のご案内
- 地下鉄「市役所」駅2番出口 東へ徒歩約10分
  - 名鉄瀬戸線「東大手」駅 南へ徒歩約8分
  - 基幹バス「市役所」下車 東へ徒歩約10分
  - 市バス幹名駅1「市政資料館南」下車 北へ徒歩約5分
  - 駐車台数に限りがありますので公共交通機関の利用にご協力ください。

施設管理者 コングレ・愛知グループ(指定管理者)  
\*情報ライブラリー、相談コーナーは、財団法人あいち男女共同参画財団が運営しています。

「女・男 ともに輝く情報誌」

# Will Aichi News

ウールあいちニュース No.66 2010 冬

編集・発行/ 愛知県 財団法人あいち男女共同参画財団

## スポーツと男女共同参画社会

スポーツ界における女性の活躍と女性の社会進出には密接な関係があります。今回は、スポーツの視点から男女共同参画について考えます。

- セミナーのご案内 2010冬
- 情報ライブラリーから
- 愛知県のトピックス
- 相談コーナーから
- 男女共同参画まんが「ウールおじさん」
- ウールあいちのお知らせ



## スポーツと男女共同参画社会

今回は、トップアスリートから生涯スポーツを楽しみたい女性たちまで、幅広く女性のスポーツ参加を促進するために国内外で支援に取り組み、スポーツを通して男女共同参画社会を推進されている、NPO法人ジュース理事長 小笠原悦子さんにご執筆いただきました。

# スポーツと男女共同参画社会

NPO法人ジュース(JWS) 理事長／びわこ成蹊スポーツ大学准教授 小笠原悦子



### NPO法人ジュース(JWS)とは

女性の社会的地位の向上を考えると、かつてそこにスポーツの視点は希薄でした。

スポーツ界における女性の地位を向上させることによって、ひいては女性全体の社会的地位を向上させること、すなわちスポーツという手段と分野で男女共同参画を推進すること、これがNPO法人ジュース(JWS: Japanese Association for Women in Sport)の目的です。

JWSは、国内外の組織と連携することによって、生涯を通じた女性のスポーツへの参加の促進、スポーツに関わる女性リーダーの育成など女性とスポーツの発展に貢献する活動を行っています。

### 女性スポーツと男女共同参画の原点

1995年に北京で行われた国連の第4回世界女性会議は、世界中の女性の地位の向上にとって大変重要なベンチマーク(指標)となった会議でしたが、スポーツの世界においても、1994年にその後のベンチマークとなった第1回世界女性スポーツ会議が開催されました。

この会議はイギリスのブライトンで開かれ、最終日に、「すべての女性が公平にスポーツに関わることのできるスポーツ文化を構築すること」を究極の目標とした「ブライトン宣言」が、82の国と地域から参加した280名によって決議されました。

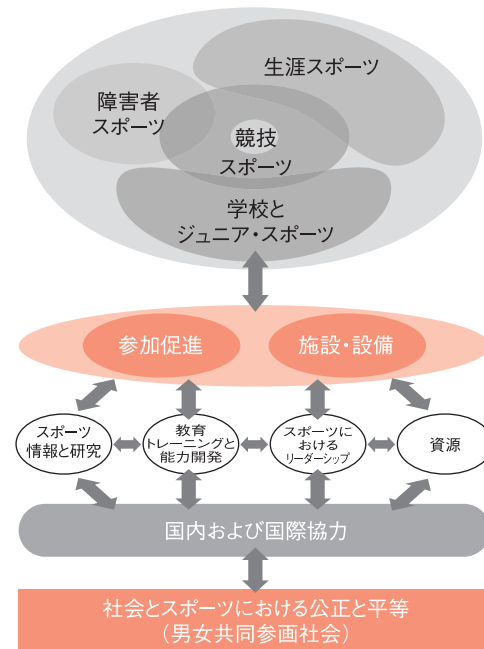
そして、第1回世界女性スポーツ会議に参加したリーダーたちの活動によって、第4回世界女性会議の「北京行動綱領」にスポーツの視点が取り入れられたのです。

### 「ブライトン宣言」普及のためにJWS設立へ

実は、私自身は1998年のアフリカのナミビアで開かれた第2回世界女性スポーツ会議に参加するまで、この2つのムーブメント、すなわち、「国連レベルの男女共同参画社会の実現を目指した活動」と、「スポーツにおける男女共同参画に則った新たなスポーツ文化の構築を目指す活動」が直接リンクしていることには気づいていませんでした。

そして、気づいてからこのことを広く知らせたいと考え、2つの関係を視覚化する試みとして作成したのが「ブライトン宣言のイメージ図」(図1)です。

図1. 10の原則からなる「ブライトン宣言」のイメージ(小笠原, 1999)



しかしながら、今度はこの図そのものの普及自体が困難であるという壁にぶち当たってしまい、1999年にJWSを立ち上げ、2006年にアジアでの開催が決定していた第4回世界女性スポーツ会議を日本へ誘致し、このイベントの準備段階を含めてスポーツにおける男女共同参画のムーブメントの推進活動を開始することにしたのです。

ブライトン宣言の目標を達成させることの意義、そして、その実現のための国際的な取り組みを国際会議というイベントで表現し、ひいては日本やアジアの国々の政府、地方行政関係機関、また民間組織あるいは個人に対して、女性とスポーツの推進のための具体的な協働を呼びかける活動を実施してきました。

### 女性アスリートの現状から見える課題

トップレベルの競技者に関して、JWSが集計分析を担当した、日本オリンピック委員会に加盟する「スポーツ団体の女性スポーツへの取り組みに関する調査」(2004年)では次のような実態が明らかとなりました。(表1、表2)

女性のアスリートは3割と意外に少なく、女性の指導者は2割しか存在しなかったのです。また、理事などのスポーツ組織の役員(意思決定者)に至っては6%未満でした。

内閣府が発表した男女共同参画基本計画(2005年)には、指導者的な立場に立つ女性の比率をスポーツ団体も含めて2020年までに30%とするという数値目標があります。

スポーツ界はこの高いハードルを、かなり大胆な戦略的計画によって越える必要性に迫られているといえます。

	男性	女性	合計
競技者	3,648,065	1,636,138	5,284,203
指導者	113,818	31,771	145,589

	会長(理事長)	副会長(副理事長)	専務理事	常務理事	理事	非常勤理事	計
男性	58	133	47	195	626	175	1,234
女性	2	4	1	8	49	10	74

「スポーツ団体の女性スポーツへの取り組みに関する調査結果」(2004年(財)日本オリンピック委員会女性スポーツ委員会) 【内閣府男女共同参画局HPから抜粋】

### 小笠原悦子さん プロフィール

中京大学大学院体育学研究科修士課程修了、同大非常勤講師(水泳)、鹿屋体育大学講師、オハイオ州立大学大学院博士課程修了(スポーツマネジメント)。

2003年～2007年 日本オリンピック委員会(JOC)女性スポーツ専門委員会委員及びアジアオリンピック評議会(OCA)女性スポーツ委員会委員。

主な著書:『スポーツマネジメント』(共編著、大修館書店)『こうして欲しい体育-女性スポーツを支援する立場から-』(大修館書店)

## 女性がスポーツを続けられる環境づくりのために

また、2002年には、「乳幼児期の子供を持つ女性のスポーツ参加と意識について」調査を実施しました。

調査対象者の特徴は、約半数が35-39歳で、定期的スポーツ実施者(27.7%:69名)と非定期スポーツ実施者(72.3%:180人)であり、両者とも「気分転換・ストレス解消」と「健康・体力の維持増進」を目的としてスポーツを実施していました。

スポーツ参加行動の阻害要因として、「施設・設備が充実していない」、「子連れでの参加をサポートするサービスが充実していない」、「子供を預けて参加すると子供が心配になる」、「子供を預かってくれる人がいない」などがあげられました。

また、低料金で安全と安心が確保された託児所の設置という要望が多く寄せられました。

子育て期の女性にとってスポーツは、心身の健康と地域との交流に有効です。スポーツ施設における託児機能の導入が望まれます。

### これからの日本のスポーツへの提言

今、オリンピック大会などの国際的な舞台で日本の女性が活躍しています。その活躍が国民にとって大きな励みにもなっています。また、多くの女性がスポーツに親しむ環境が整いつつあります。しかし、まだ解決すべき問題が残されています。

一人の人間として、スポーツをする権利を当たり前主張することができ、またそれを自然な形で受け入れることができる社会的な環境づくり、それが世界からも日本に求められている方向性です。

あらゆるレベルで女性がスポーツに関わることのできる環境が整うことが重要なのです。なぜなら、その目標が達成できれば社会全体として女性の地位そのものが向上している証となるからです。そのためには、条例などをも含む地方レベルでの環境整備が鍵となると感じています。

## セミナーのご案内 2010冬

(講師敬称略)

### 女性のグループリーダー研修(全3回)

#### グループを育てる! ～リーダーの役割とコーチング・スキル～

リーダーの役割と、ともに成長するためのコーチング・スキルをワークショップ形式で学びます。

- 日時・テーマ・講師  
2月7日(日) 13:30～16:30  
グループ運営のためのコーチング・スキル  
松本昌子(株式会社エム・ズ コーチング・ファシリテーター)
- 2月13日(土) 10:30～16:30(\*1時間の昼休憩あり)  
グループ運営のためのコーチング・スキル  
浦野真奈美(株式会社エム・ズ 取締役コーチング・ファシリテーター)
- 2月20日(土) 10:30～16:30(\*1時間の昼休憩あり)  
コーチング・スキルを活かしたチームビルディング  
秋田稲美(株式会社エム・ズ 代表取締役社長)
- 受講料 (全3回) 3,500円
- 定員 40名
- 対象 団体・グループで活動している女性、またはこれから活動したい女性
- 申込締切 1月20日(水) 必着

### テーマセミナー②(全4回)

#### 心と体を癒す自己ヒーリング

「癒す」をテーマに、自分でできるヒーリングテクニックの活用方法についてご紹介します。

- 日時・テーマ・講師  
2月21日(日) 10:00～12:00  
ストレスとつきあう ～自分らしく生きるために～  
石田ユミ(財団法人あいち男女共同参画財団チーフ相談員)
- 2月27日(土) 13:30～15:30  
心と身体を癒す植物の香り、生命の深呼吸  
萩尾エリ子(ナード・アロマセラピー協会認定アロマ・トレーナー、  
夢科ハーバルノート・ハーバリスト)
- 3月7日(日) 10:00～12:00  
薬膳で心と体を癒す  
吉沢佳七子(NPO法人ウーマンリビングサポート理事長、  
ココカラ ウィメンズ クリニック院長)
- 3月14日(日) 10:00～12:00  
睡眠で心と体を癒す  
鈴木大次郎(みゆきクリニック院長)
- 受講料 (全4回) 2,000円 ●定員 40名
- 申込締切 2月9日(火) 必着

### キャリアアップセミナー(全2回)

#### ロジカル・プレゼンテーション ～相手の「なるほど納得!」を引き出す考え方、伝え方～

ロジカル・シンキングのスキルを生かして、相手の納得を引き出し、行動を促すプレゼンテーションを学びます。

「プレゼンは苦手…でも、必要に迫られている、克服したい。」そんな方におすすめのセミナーです。

\*パワーポイント(Microsoft PowerPoint)を学ぶセミナーではありません。

- 日時 2月27日(土)・3月7日(日) 10:00～16:30  
(\*1時間の昼休憩あり)
- 講師 内田友美  
(株)HRインスティテュート取締役チーフコンサルタント)
- 受講料 (全2回) 3,000円
- 定員 50名
- 対象 職場やグループ活動のなかで、提案や報告をする機会が多い方、または今後必要とされる方
- 申込締切 2月9日(火) 必着

### ウーマンネットワーク支援事業①

#### 人気ラジオパーソナリティーに学ぶ!! 「自分」と「想い」の伝え方

常にホットな話題を吸収し、発信し続けるラジオパーソナリティー。人々を魅了する軽やかなトークの裏には日頃の情報収集と、それを自分の物にして伝えるための様々な苦労や工夫があるはず。

このセミナーでは、ZIP-FMでお馴染みの堀江美穂さんをお招きして、「自分」と「想い」を伝えることの難しさや魅力について語ってもらい、その「秘訣」を伝授していただきます。

- 日時 2月28日(日) 13:30～16:30
- 講師 堀江美穂  
(ZIP-FMミュージック・ナビゲーター)
- 参加費 1,500円  
(スイーツ・ドリンク付)
- 定員 40名(女性)
- 申込締切 2月12日(金) 必着



### ウーマンネットワーク支援事業②

#### 人と社会をArtでつなぐ。 ～アートでみんなを元気にする方法～

「アート」はとて身近なもの。近頃、人と人を結びつけ、元気づけ、癒しを与えるその不思議な力を活用し、商店街や過疎地域、医療施設、介護施設などを舞台とした作品制作や展示、コンサート活動の成果が目まぐるしく目撃されています。

このセミナーでは、現在そうした活動の最前線に立つ講師をお迎えし、アートの持つ多様な可能性と、皆さんにも参加できる、アートによる社会貢献活動の実践例についてお話しいたします。

- 日時 3月6日(土) 13:30～16:30
- 講師 林容子  
(NPO法人 アーツアライブ常務理事)
- 参加費 1,500円  
(スイーツ・ドリンク付)
- 定員 60名(女性)
- 申込締切 2月19日(金) 必着



※申込方法等、詳細はちらし、ホームページ <http://will.pref.aichi.jp> をご覧ください。

※都合によりセミナーの日程等に変更が生じる場合もありますので、ご了承ください。

〈問い合わせ先〉 財団法人あいち男女共同参画財団 総務企画課

電話(052)962-2512 FAX(052)962-2477

Eメール willkouza@will.pref.aichi.jp (Eメールアドレスを変更しました。)

### 《公開講座①》

#### ミクニ キヨミ 三國清三シェフに「食」を学ぶ

人間が生きていくためには「食」は欠かせません。しかし、日々の忙しさにまぎれ「食」に対する意識が希薄になり、健全な食生活が失われつつあります。

身近な素材を選び、自分で作る大切さ、楽しさを知り、自分で作った料理を自分で食べるのももちろん、周りの人たちに食べてもらう喜びを経験すれば「食」に対する意識も自然に高まります。

今回は、食育活動やスローフードの普及にも意欲的に取り組んでいる三國シェフに「食」に興味を持った理由や食べる大切さや楽しさなどを伺い、「食」の重要性について一緒に考えてみましょう。\*講演会です。

- 日時 2月21日(日)  
13:30～15:30
- 講師 三國清三  
(「ホテル・ドゥ・ミクニ」オーナーシェフ)
- 受講料 500円
- 定員 120名
- 申込締切 2月9日(火) 必着



※申込方法等、詳細はちらし、ホームページ <http://www.will.pref.aichi.jp> をご覧ください。

〈問い合わせ先〉 財団法人あいち男女共同参画財団 総務企画課

電話(052)962-2512 FAX(052)962-2477

Eメール willkouza@will.pref.aichi.jp (Eメールアドレスを変更しました。)

### テーマセミナー①(全2回)

#### 今どきの結婚事情 晩婚化、未婚化はなぜ?

近年、日本の未婚率は年々上昇傾向にあります。結婚するためには婚活が必要な時代と言われ、最近では子どもに代わって親の婚活も広がっています。なぜ、若者は結婚しないのでしょうか?それとも結婚できないのでしょうか?そこで今回は、若者の結婚観や婚活現場から見た若者の素顔に迫り、結婚事情がどのように変化してきているのかについて理解を深めます。

(公開講座②だけでも受講できます。)

- 期日・テーマ・講師  
《公開講座②》1月30日(土)  
なぜ若者は結婚しないのか  
板本洋子(日本青年館結婚相談所専門相談員)
- 2月7日(日) 婚活現場から見た若者像  
影澤沙恵(株式会社ツヴァイ チーフアドバイザー)
- 時間 13:30～15:30
- 受講料 (全2回) 1,000円、(公開講座のみ) 500円
- 定員 40名、ただし公開講座は80名
- 申込締切 1月20日(水) 必着



## 情報 ライブラリーから



## 情報

## 「女性とスポーツ」

心身ともに健康に過ごすためにスポーツは欠かせません。今回は女性が長くスポーツを続けるために知っておきたい情報満載の図書をご紹介します。

### 『女性とスポーツ環境』

石田 良恵著(モダン出版)

近年、女性が国際的なスポーツの場で活躍する姿を見るのは珍しい光景ではなくなりました。女性の身体特性とは。女性と体脂肪の関係とは。女性は男性の記録を超えられるのか。本書では女性の身体のメカニズムに焦点を置き、身体と競技パフォーマンスについても触れられています。



### 『ボディワイズ・ウーマン』

ジュディ・M・ルター&リン・ジャフィー著(大修館書店)

自分の身体とうまくつき合えていますか。スポーツやエクササイズもただやみくもに量をこなせばいいというわけではありません。なぜ、どのように、どのような環境下で行えば最高の効果が得られるのか。女性の健康・フィットネスに関する全米屈指の専門研究機関の研究成果を基に、従来のダイエット本や健康本では決して触れなかった女性特有の身体づくりについて、体系的にわかりやすく書かれています。あなたも自分自身を見つめ直し、より健康的で活動的な人生を築きませんか。



### 『女は女が強くする』

井村 雅代・宇津木 妙子・五明 みさ子著(草思社)

「強くなりたい」これは多くの競技選手やコーチが切実に考えること。本書には第一線でコーチとして活躍されている三人ならではの指導方法や発想が詰まっています。それぞれのコーチが感じた本音を聞くことで、これからの女性選手が世界に立ち向かっていくための大きな可能性やヒントをもらえるはず。



〈問い合わせ先〉ウィルあいち情報ライブラリー 電話 052-962-2510

「はがき1枚からの男女共同参画」優秀作品について

身近なところから男女共同参画を考えていただくために、「はがき1枚からの男女共同参画」作品を広く県民の皆様から募集したところ、936作品の応募をいただきました。このなかから、最優秀作品4点と優秀作品20点が選ばれました。詳細はホームページでご覧いただけます。

平成21年度最優秀作品

〈一般部門〉



内田 八重子さん  
(知立市)



小沢 竹朗さん  
(豊田市)

〈児童・生徒部門〉



原 亜維さん  
(稲沢市立大里西小学校3年)



影山 遥さん  
(愛西市立佐織西中学校3年)

〈問い合わせ先〉 愛知県県民生活部男女共同参画室  
電話052-954-6179 <http://www.pref.aichi.jp/danjo/>

「愛知県男女共同参画推進活動者表彰」について

県内各地では、女性の自立に対する支援活動や仕事と家庭の両立支援など、男女共同参画に係るさまざまな活動が行われています。愛知県では、男女共同参画社会づくりを推進する上で、顕著な功績を収められた方や団体を対象に、表彰を行っています。今年度は4人の方と3団体が受賞されました。

個人(4人)

氏名(住所)	
あおき 青木 昭子 さん	(豊明市)
いとう 伊藤 ゆかり さん	(名古屋市緑区)
おおしま 大島 勝江 さん	(名古屋市北区)
なかしま 中島 嘉子 さん	(安城市)

団体(3団体)

団体名(住所)	
あめんぼ読書会	(新城市)
クッキングパパ	(小牧市)
せとしちいきふいんだんたいしれんらくきょうぎかい 瀬戸市地域婦人団体連絡協議会	(瀬戸市)

〈問い合わせ先〉 愛知県県民生活部男女共同参画室  
電話052-954-6179 <http://www.pref.aichi.jp/danjo/>

チャレンジ女性応援モデル事業の成果報告会を開催します

女性の様々な分野へのチャレンジを支援するために県内各地で実施した「チャレンジ女性応援モデル事業」の成果報告会を開催します。

〈日 時〉 平成22年2月6日(土) 13:00~14:10

〈場 所〉 ウィルあいち 1階 セミナールーム1・2

〈報告団体・事業名〉 ◆特定非営利活動法人市民フォーラム21・NPOセンター  
「Chance-Challenge! "トータルサポートプログラム"」  
◆地域開発みちの会  
「命のつながり男と女の役割=生物多様性(COP10)と男女共同参画=」

〈定 員〉 100人(先着順)

〈参加費〉 無料

〈申込方法〉 所定の申込書(下記ホームページから入手)に必要な事項をご記入の上、郵送又はFAXでお送りいただくか、申込書の内容をご記入の上、Eメールでお送りください。

〈申込締切〉 平成22年1月29日(金)(必着)

〈申込・問い合わせ先〉 〒460-8501(住所不要)愛知県県民生活部男女共同参画室

電話 052-954-6178 FAX 052-971-8736

Eメール danjo@pref.aichi.lg.jp ホームページ <http://www.pref.aichi.jp/danjo/>



相談コーナーから

★まずはお電話ください。

相談コーナー専用ダイヤル 052-962-2614

◇受付時間

火~金曜日 9:00~12:00、12:45~16:30

土・日曜日 9:00~12:00、12:45~16:00

面接相談

ウィルあいち相談コーナーの面接相談は、電話相談の後、面接で解決していくことが必要と思われたときに、予約制でお受けしています。

D子さんの事例

「昨日、夫と些細なことで喧嘩になり、『お前とはもうやっていけない、離婚したい。』と言われました。私が家事をしない、夫に口答えをするというのが理由だといいます。子どももいますし、別れてやっていく自信がありません。どうしたらいいかわからないのです。」

夫の言葉に動揺し、混乱した様子で電話をかけてこられたD子さん。夫との関係や、この先の生き方を考えたいけれど、今のままでは何も決断できないので、面接相談で問題を整理していくことになりました。

Dさんは48歳、会社員の夫と中学2年の長女、小学6年の次女の4人で暮らしています。初回の面接相談では、パートで働きながら夫の母の介護をしてきたこと、夜遅く帰宅する夫に家のことを相談しようとするの不機嫌になるため、夫を当てにせず自分なりに判断して、一所懸命家事をこなしてきたこれまでの生活を、時折涙を流しながら語られました。

相談者を見守り、悩みを一緒に考えます

夫から離婚を言い出されたことにより、これまでの生き方を全否定されたように感じ、何もかもが崩れていくようなやり切れない気持ちや夫への怒り、この先の生活や子どもの養育のことなど次々に湧き出る不安を語られていたD子さんでしたが、何回か面接相談を重ねるうちに、子ども中心に毎日を過ごしてきた、疲れて帰ってくる夫の気持ちを思いやることもなかったことや、不機嫌な夫を見ないようにやり過ごしてきた自分のあり方に気づかれ、夫とやり直す努力をしていきたいと決意されました。

このように、ウィルあいち相談コーナーの面接相談では、相談者自身が、自分の身に降りかかった事柄をどのように受け入れ、この先の人生をどのように生きていくのか考えていきます。自分を見つめ直すことは、時として痛みを伴う作業であったりもします。しかし、考え感じることで私たちは変化していきます。昨日見えなかった問題が今日見えてくることもあるのです。相談員は相談者の方を見守り、一緒に考えていくことによって、問題解決のお手伝いをしています。

※事例はプライバシー保護のため、実際の相談とは設定や状況を変えてあります。